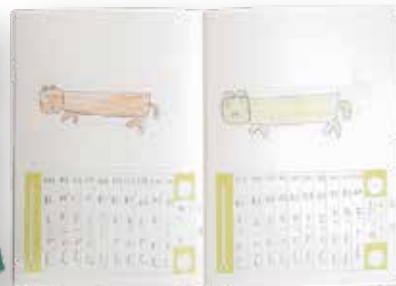


「表現」とは、明治期に英単語【expression】宛てられたことばです。【expression】は、ラテン語の動詞 exprimo(ジュースなどを絞り出す)を由来に持ち、内面的なものを外にあらわすことを意味します。この先、AIがどんなに発達しても、ものごとのよさや正しさ、美しさを判断し、創造的に表現することは、人間の最も大きな強みになると言われています。

北海道には、なんらかの障がいがありながら表現活動をしている人が多くいます。障がい者による芸術活動は、自由で多様な価値を持つ創造的なアートとして注目されていますが、その

根底にあるものはプロのアーティストや私たちと同様で、内面的なものを形にしたい、あるいは伝達したいという欲求です。

本展では、小樽美術館のコレクションとともに、北海道の障がい者による優れた芸術作品を紹介します。展覧会を通して、「表現する」ことについて考えてみましょう。



川村 清



keita



手塚義定



中道 章子



宮崎 寿



高丸 誠



佐々木伸夫



佐藤 程昭



上中 文江



成田 信之

< 関連イベント情報 > 予約制：お電話 0134-34-0035 または受付フォームにて

●トークイベント「福祉の視点／アートの視点」 定員：50名  
1月8日(月・祝) 14時より 市立小樽美術館 1F 研修室 聴講無料 \*展覧会の観覧には別途チケットが必要です。  
講師：三橋純予(北海道教育大学岩見沢校教授)、菊地里奈(遊友やすくに)  
聞き手：山田菜月(市立小樽美術館学芸員)

●ギャラリートーク(要入館料)  
2月10日(土) 14時より 講師：山田菜月(市立小樽美術館学芸員)  
2月24日(土) 14時より 講師：壽崎琴音(社会福祉法人ゆうゆう学芸員)



受付フォーム

	JR函館本線	小樽駅
	●小樽経済センター	
●産業会館	●長崎屋	●サンビルスクエア
●都通り		
●オーセントホテル小樽		
		旧手宮線
●金融資料館(旧日本銀行)	●市立小樽美術館	
●郵便局本局		
●小樽芸術村		
	小樽運河	